

《企業紹介》

同社はベトナムでユニバーサルバンキングサービスを展開する銀行で、大手4行（ベトナム投資開発銀行、ヴィエティンバンク、ベトナムバンク、アグリバンク）の一角を占める。国内銀行の総貸出残高は3位（2025年3月末時点）となっている。同社の強みとしては、国際的な信用調査機関からベトナム国内の銀行の中で最も高い信用評価を得ていることが挙げられよう。

1963年4月にベトナム国立銀行の外国為替部門がスピノフして設立され、1990年に外国為替専業銀行から商業銀行へ転換、その後事業の多様化を進めて2009年に民営化企業として初めての株式公開している。2011年にみずほ銀行と戦略提携し、みずほ銀行は同社の株式の15%を保有している。

《2025年4-6月期業績》

2025年4-6月期の営業収入（以下、収入は全て費用を差し引いた純額）は前年同期比6.7%増の17.8兆VND（ベトナムドン）だった。その他収入が同111.7%増の2.8兆VNDとなったが、金利収入は同1.8%増の14.1兆VND、手数料等収入は同42.6%減の8,609億VNDと振るわなかった。

貸出債権残高は同14.1%増の1,522兆VNDとなったが、引き続き預貸利ザヤが縮小したため、金利収入が伸び悩んだ。手数料等収入も各種金融サービスの需要が振るわなかったため、収入が大きく減少した。ただ、預貸利ザヤの改善は遅れているものの、既に2024年7-9月期からは下げ止まりつつあるようだ。

税引前利益は同9.1%増の11.0兆VNDだった。営業費用が同17.6%増の6.0兆VNDとなったが、貸倒関連費用が同46.5%減の8,096億VNDとなり、税引前利益の増益率を押し上げた。税引後利益は同8.8%増の8.8兆VNDとなった。競合他社との貸出競争激化により、預貸利ザヤの改善は遅れているようである。貸出債権残高の増加に対して貸倒関連費用が減少したため、貸倒比率は0.2%と低い水準を維持している。資産の安全性は極めて高いといえよう。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期		2025年4-6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	16,751.6	-4.1	16,836.0	6.7	17,710.6	11.0	17,264.7	-0.1	17,868.2	6.7
(うち金利収入)	13,907.7	-0.8	13,577.6	7.8	13,842.3	8.1	13,687.2	-2.8	14,160.2	1.8
(うち手数料等収入)	1,499.0	-7.6	1,272.3	42.8	923.8	-49.0	806.0	-44.1	860.9	-42.6
(その他収入)	1,344.9	-26.4	1,986.1	-13.3	2,944.4	118.5	2,771.6	57.4	2,847.1	111.7
営業費用	5,121.8	-9.4	5,811.4	11.1	7,040.2	22.4	5,652.4	11.8	6,024.7	17.6
貸倒関連費用	1,513.5	-40.3	325.6	-78.2	-32.3	-	752.4	-50.1	809.6	-46.5
税引前利益	10,116.3	9.0	10,698.9	18.2	10,702.7	-8.5	10,859.9	1.3	11,033.9	9.1
税引後利益(株主帰属分)	8,119.4	9.4	8,566.6	17.9	8,565.4	-8.4	8,696.2	1.4	8,831.9	8.8
貸出債権残高	1,334,762	17.1	1,366,088	18.7	1,418,037	14.2	1,433,896	16.0	1,522,462	14.1
貸倒比率(年換算、%)	0.5	-	0.1	-	-0.0	-	0.2	-	0.2	-

注1 収入は全て対応費用を差し引いた純額

注2 貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4(年換算)で計算(%)

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20250807

主な事業 金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

《株価の推移》

同社の株価とVN指数の2024年終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。年初から4月中旬までの同社の株価の動きはVN指数と概ね連動したものとなっていたが、その後はVN指数の上昇に後れを取り、アンダーパフォームが続いている。8月6日終値時点でVN指数が2024年末比24%の上昇となっているのに対し、同社の株価は2%の上昇(3月の1株に対し0.495株の株式配当を考慮後)となっている。8月6日終値62,300VNDで計算した時価総額は520.5兆VNDで、これは2024年12月期実績の税引後利益33.8兆VNDに対して15倍となっている。

預貸利ザヤの改善と貸出債権残高の増加が両輪となった利益成長が期待されていたが、が未だにその動きは確認できず、そのことが株価のパフォーマンスに影響したと考えられる。しかし、既に述べたように2024年7-9月期以降、預貸利ザヤの悪化は止まっており、同社の貸出資産の高水準の安全性を考慮すると、貸出債権残高の増加余地は大きいと考えられよう。期待されている業績成長が発現する時間帯が接近している可能性にも留意するべきだろう。

図表2 株価推移



注 2025年3月の1株に対し0.495株の株式配当を考慮している
出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20250807

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。